



No.170

2018年2月14日(水)

連合奈良北和地域協議会

発行/〒630-8325

奈良県奈良市西木辻町 93-6

エルトピア奈良内

代表者/桐木正明 ■ 編集者/森山欣哉

奈良市長と北和地協との意見交換会

2月13日(火) ホテルリガーレ春日野(15:00~16:30)において、植村副議長の司会で仲川市長の挨拶に続き北和地協を代表して桐木正明議長が挨拶、出席者紹介。桐木議長より要請書を市長に手交した。その後、加盟単組から要望や提言等を出し意見交換会を行った。



「公契約条例の制定」を求める要請



仲川げん市長に要請書を手渡す桐木正明議長

連合奈良北和地協と奈良市長との意見交換会は2015年5月27日に開催してから2年ぶりの開催となる。昨年は、7月の市長選挙と市議会議員選挙、10月の衆議院選挙の関係で開催見送りとなった。

奈良市から仲川げん市長と北和地協から12名の役員・幹事が出席した。

役員・幹事から多くの意見、要望が出され、有意義な意見交換会となった。

「公契約条例の制定」を求める要請書

1. 公共事業だけでなく、業務委託を含むすべての公契約を対象にする。
2. 労働者は労働基準法上の労働者に限定することなく、実態に即して対象とする。
3. 入札業者の労働条件は、最低賃金を踏まえた賃金水準とする。

○市長へ意見・要望事項等

- (1)奈良市の交通政策について(第1回地域公共交通会議が開催され、地域公共交通ネットワークの維持・充実によるサービス向上交通分野にとどまらず、まちづくりや健康、福祉等の様々な分野に効果を及ぼす。公共交通に関する考えを聞く)
- (2)エネルギー関連について(昨年の「第2次奈良市地球温暖化対策実行計画」を掲げ、温室効果ガス削減の具体的な取り組みとして、補助金事業の復活の考えを聞く)
- (3)奈良市における「ICT活用戦略」「地域IoTの推進」等について(安心・安全に暮らせる奈良市をめざし、市民サービスを追求した「ICT活用戦略」や「地域IoTの推進」ならびに人材育成・活用)また、それらを進めるためのアクションプランなどについて考えを聞く)
- (4)ライフサポートセンター奈良事業へのお願い(北和地協はLSC奈良の運営サポート団体として、奈良市の広報誌等への掲載と関係機関(例えば、奈良市24公民館等へのチラシを置く)に案内チラシを置かしていただき「生活なんでも無料相談」の存在を市民にお伝えしたい)